

経営健全化方針に基づく取組状況（令和2年度）

○法人名：沖縄都市モノレール株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

平成29年度決算において債務超過額が4,326,185千円発生したため、策定したものの。

○財政的リスクの状況

	平成29年度決算	令和元年度決算
債務超過額（千円）	4,326,185	▲1,351,850
事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額（千円）	—	—
土地開発公社のうち債務保証又は損失補償の対象となっている保有期間5年以上の土地の簿価総額(A)（千円）	—	—
損失補償、債務保証及び短期貸付けの合計額(B)（千円）	—	—
標準財政規模(C)（千円）	—	—
実質赤字比率(%)	—	—
(A) / (C) (%)	—	—
(B) / (C) (%)	—	—

○主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・ 浦添区間延長開業開始から、運行ダイヤを4種類から2種類へ集約するとともに増便した。また、混在緩和のため首里始発便を実施。
- ・ 浦添市において「がんじゅう1日乗車券」を発売
- ・ 国内旅行客等の利便性向上のため、「Suica」等の全国共通ICカード（片利用）システムを導入
- ・ やんばる急行バスと連携し、電子チケット限定による新たな乗車券の発売
- ・ 9車両のラッピング広告実施、駅舎内に新たな売店及びATMの設置

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】

- ・ 経営健全化検討委員会を2回開催、事業計画と決算状況の比較、課題等の情報共有、経営状況等の把握、経営改善に向けた取り組みの支援に努めた。
- ・ 公共交通機関を担う同社の経営安定化及びモノレール3両化を推進するため、市の無利子貸付金のうち約13.6億円を株式化（DES）した。
- ・ 駅に直結した「てだこ浦西パーク&ライド駐車場」を開設、高速道路からの乗り継ぎにより中北部からも利用し易い環境を整備した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位：千円)

	平成29年度決算	令和元年度決算
資産総額	24,618,872	21,733,027
(うち現預金)	(2,851,784)	(3,513,230)
(うち売上債権)		
(うち棚卸資産)		
負債総額	28,945,058	20,381,177
(うち当該地方公共団体からの借入金)	(8,468,434)	(6,718,412)
純資産総額	▲4,326,185	1,351,850

(損益計算書から)

(単位：千円)

	平成29年度決算	令和元年度決算
経常収益	3,869,237	4,304,491
経常費用	3,366,501	3,732,298
経常損益	502,735	572,193
経常外損益	▲12,629	▲355,874
当期純損益	490,106	216,319